



## チームのオフサイトミーティングに焚き火や森林に関する事業体験ツアーを導入

ストーブを囲む環境の中で、自然にお互いのコト関わっている仕事について議論できる場とし、協働作業としての火起こしや炊事を通じた、チームビルディングにも活用。

### 導入の経緯と決め手

宿泊型ミーティング施設「TAKIVIVA」で開催されたワークショップに参加したことがきっかけで、施設の運営会社（(有)きたもっく）の企業理念やスタッフの人柄にも共感し、利用するようになった。企業合宿を行う上でファシリティも充実しており、アウトドア施設であるが、清潔感があり、普段の生活とそこまでかけ離れていないことは、ハードルが低く、自然空間を体感する入り口にもなる。

### 取組内容とその効果

#### <実施地域：森林サービス産業推進地域「群馬県長野原町地域」等>

チームとしてひとつの目標に向かっていくためのオフサイトミーティングを実施。これまで働く中での幸せを感じたエピソードを共有することでお互いを知り、その上で日頃の業務で煮詰まっていること、目指したいことを共有し、協力できる部分を発見。チームビルディングの要素もアリながら、6次産業化の事業体験ツアーを皮切りに焚き火や薪ストーブを囲んでの話し合い、協働作業の炊事などきたもっくのフィールドを感じることで、プロジェクトのアウトプットが変化し、価値が生まれる体験ができた。これまでに約60名が参加している。



#### 従業員の声

仕事の中ではありますが、それ以上にお互いの人柄を知り、自分の気持ちもさらけ出せる関係性の上で会話ができることのチカラを合宿後も感じています。

### 役割分担と参加促進に向けた取組

地域で提供されているプログラムの中から、必要に応じて選択して利用。

社内では、ボトムアップ型の取組であり、施設を利用したい場合に、その都度社内の承認をとって利用している。利用した社員からの口コミで利用者が拡大している。

#### ■プログラム構築：

取組みの一部に企業が地域で提供されているプログラムを活用

#### ■導入形態：

チームの方向性を合わせる合宿（宿泊）  
プロジェクト検討合宿（宿泊）

#### ■対象者：

チーム/プロジェクトメンバー単位での利用

#### ■費用負担：

企業が全額負担

#### 目的

- チームで実現したい目標の浸透
- 目標を達成するためのチームビルディング・コミュニケーション強化
- 密な議論による事業推進

#### 結果（企業の声）

- 自然の空間の中で、仲間のことを知るお互いの存在が近くなる
- 自然体験活動を通じることでアウトプットが変わる